看護学科看護養護教育学専攻　【基礎分野】

必修科目　選択必修科目　選択科目

★太い線は、科目間の関連を示します。　★3年次、4年次の該当科目はありません。

■学習・教育目標■　幅広い分野にわたって教養を養い、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とする医療職者としての倫理観を持ち、日常場面、職場、研究の場において必要な、基礎的な他言語のコミュニケーション能力を持つ人材を養成する。

	科目群の学習・教育目標	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期
人間科学系	多面的に広い視野から物事を考えられるように、一般教養を備えるとともに、科学的思考の基盤を培い、人間としての尊厳を倫理面、および制度・経済・文化等多角的な視点から理解出来る能力を身につける。		日本国憲法		
		教育心理学			
			保健・医療の現状と未来Ⅰ		
			保健・医療の現状と未来Ⅱ		
					健康スポーツ科学
				社会と大学Ⅰ	
					社会と大学Ⅱ
				社会と大学Ⅲ	
自然科学系	自然科学に関する基礎的な内容を理解し、体系化された学問に幅広く触れる。情報処理・情報活用の基礎的能力を身につける。	基礎生物学			
		生化学			
		情報処理論			
			情報科学		
				医用機器概論	
語学系	専門的な知識と技術を駆使して、課題の探求、解決する能力、並びにそれに必要な論理展開力とコミュニケーション能力（記述、表現、議論、語学力）を身につける。	実用英語Ⅰ	実用英語Ⅱ	英会話※	英会話※
				日本語表現法	

看護学科看護養護教育学専攻　【専門基礎分野】

必修科目　選択必修科目　選択科目

★太い線は、科目間の関連を示します。

■学習・教育目標■

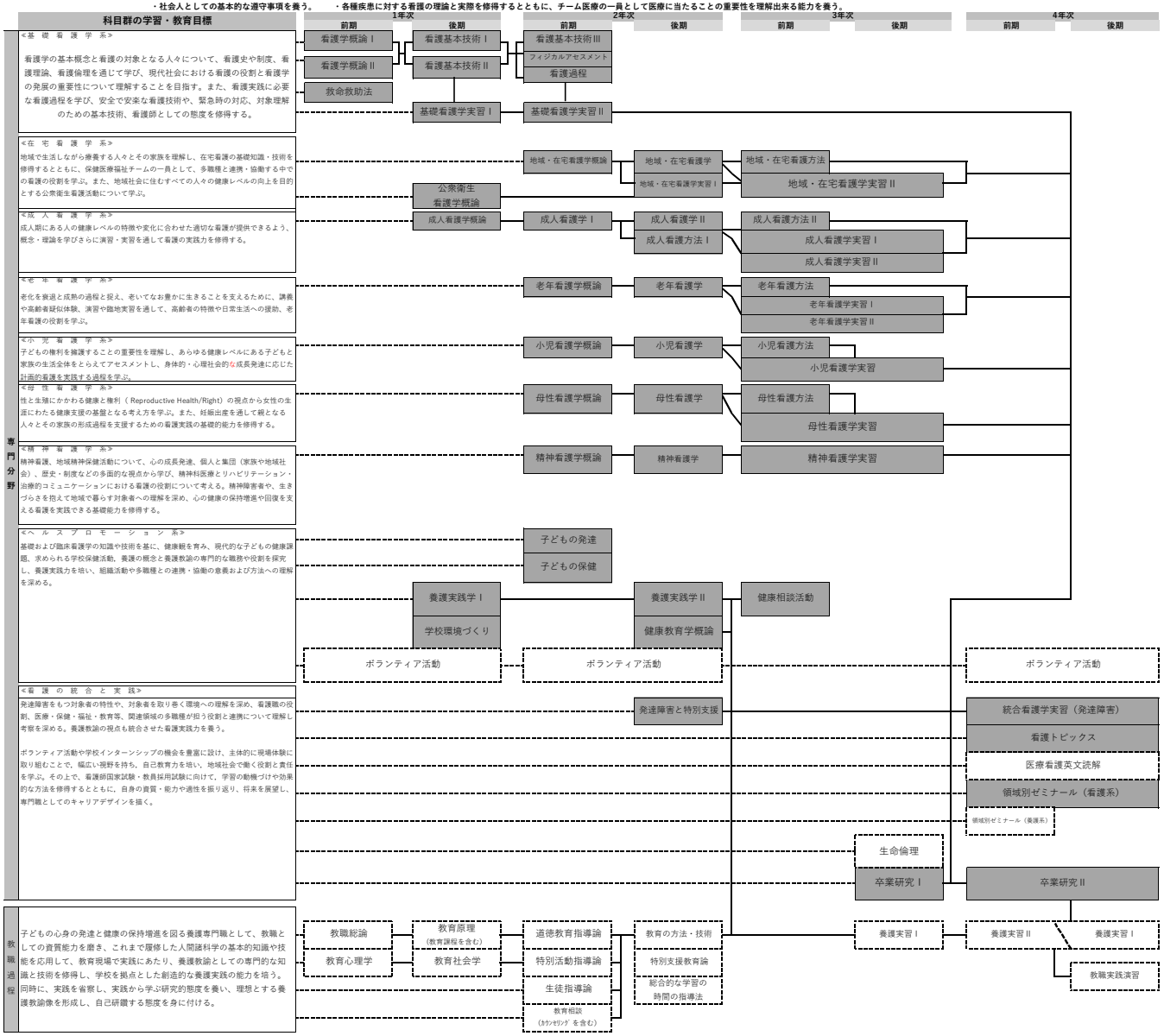
「さまざまな健康レベルにある人々のQOLの向上への支援が実践出来る看護師」に必要な基礎学力の向上と専門分野へスムーズに進む為に、専門分野において求められる医学基礎と看護師としての基礎的能力を学び、それらの知識を取り込む能力を養う。

	科目群の学習・教育目標	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
専門基礎分野	≪人体の構造と機能・疾病の成り立ち≫ 人間の正常な体の構造と機能を理解すると共に、生体防御のしくみ、疾病の原因、疾病の成り立ち、病態、治療方法などについて学ぶ。また、臨床で遭遇する代表的な疾患の病態生理を中心に理解し、看護実践や救急処置の基本となる知識を修得する。	解剖学（解剖学実習を含む） 生理学 感染症・免疫学	薬理学 栄養学（食品学を含む。） 疾病の成り立ちⅠ 疾病の成り立ちⅡ	疾病の成り立ちⅢ 疾病の成り立ちⅣ	疾病の成り立ちⅤ 疾病の成り立ちⅥ 小児の疾病の成り立ち				
	≪健康支援と社会保障制度≫ 社会で生活する人々の疾病予防と健康増進を目的とした公衆衛生の基本的な技術と方法論を学ぶとともに、人々が暮らしやすい社会の実現に向けた社会福祉援助の在り方について学ぶ。さらに、健康教育の実践者としてのスキルを修得する。	公衆衛生学 学校保健学概論				疫学・保健統計			健康支援と法律

看護学科看護養護教育学専攻　【専門分野】

必修科目　選択必修科目　選択科目

★太い線は、科目間の関連を示します。

■学習・教育目標■

・看護師としての問題解決のための基本的な能力を養う。　・看護の展開に必要な情報収集能力の修得、その統合と解釈の仕方等、基本的な看護の実施が出来る能力を養う。
・最新の医学・医療・看護に関する知見と科学的なものの見方を養う。　・看護の現場で必要とされる評価内容や評価技術を養う。
・社会人としての基本的な遵守事項を養う。　・各種疾患に対する看護の理論と実際を修得するとともに、チーム医療の一員として医療に当たることの重要性を理解出来る能力を養う。